
アンダス

松原悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アングス

【Nコード】

N9252E

【作者名】

松原悠

【あらすじ】

10歳のジョージは、友人のダンの誘いにのり、隣の島へ行ってみることにする。

プロローグ

カシオペア座と蠍座の間、地球から遠く遙か、地球によく似た惑星アンダスがある。

その星には陸や海、青い空があり、動物や植物、人も住んでいる。しかし、この星には地球と大きく異なるところがある。それはこの星には大陸がないことである。しかし、陸は存在する。つまり、この星の陸は無数の小島で成り立っているのである。

また、この星の環境が生み出した文化なのか、居住用の島は、島一つに一世帯だけが住んでいる。

人々は、自分の島を家のように扱い、島同士、船で行き来するのである。学校や役所や病院などは大きめの島にまとめて存在し、全ての島の統制は王政であり、圧政もなく平和で安泰していた。

もう一つ、地球と異なるところがある。

それはエネルギーである。この星には石油ともものは存在しない、人々が石油を見つけ出せていないわけではない。この星に石油が存在しないのだ。

その代わり、電力がある。

とはいえ発電所は無く、この星で採れるハルロイトという石が太陽光から電気を生成、蓄電する性質を持ち、人々はそれを利用し、夜の照明に利用している。

そのため、この星の大気を汚染するものはなく、空気も水もきれいであった。

人々の生活必需品となる船にはこのハルロイトを利用したのもあるが、非常に高価で、原始的な風と帆を用いた船が一般的だった。

また、この星には飛行機もなかった。滑走路を作るほど広い島も数少ないということもあるが、最も大きな理由は、ハルロイトの重さにより、それ自身を飛ばすほどプロペラを回す電力は無かったからである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9252e/>

アundas

2010年10月11日22時11分発行